



2025年12月25日

各 位

会 社 名 株式会社 Z e n m u T e c h
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 阿部 泰久
(コード番号:338A 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 CFO 酒井 茂輝
(TEL.03-6260-6195)

ZENMU Virtual Drive大型案件受注に関するお知らせ

当社は、自社開発した秘密分散技術「ZENMU-AONT」(※)を活用したPC向け情報漏洩対策ソリューション「ZENMU Virtual Drive」に関し、複数の取引先より大型案件の受注をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 今回の受注について

新型コロナウィルスの流行以降に拡大、定着したリモートワークによる業務用PCの持ち出しに関するセキュリティ需要に対し、秘密分散技術を活用したセキュリティと利便性の両立や価格などの優位性による置き換え提案に取り組んでおります。

このたび、当社の主力サービスであるZENMU Virtual Driveに関し、以下のとおり、2件合計254百万円の受注を獲得致しました。

2. 受注内容

(1)

受注内容	ZENMU Virtual Drive パーペチュアルライセンス契約
受注金額	140百万円
売上計上時期	2025年12月。検収基準により一括計上予定。

(2)

受注内容	ZENMU Virtual Drive パーペチュアルライセンス契約
受注金額	114百万円
売上計上時期	2025年12月。検収基準により一括計上予定。

なお、今回の受注相手先その他具体的な内容につきましては、受注相手先に対する営業秘密保護の観点から、開示内容が限定されます。当社と受注先との間に開示すべき資本関係、人的関係、取引関係はございません。また、当社の関連当事者にも該当いたしません。

3. 今後の見通し

本件による 2025 年 12 月期の業績への影響は、8月 13 日公表の業績予想に織り込み済みであり、影響は軽微であります。

今後公表すべき重要事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

※秘密分散技術「ZENMU-AONT」

秘密分散技術とは暗号化技術の一種であり。情報を暗号化技術によって複数の分散片に分け、分散保管した分散片のうち、あらかじめ設定した複数の分散片、またはすべての分散片を揃えないと元のデータの復元が不可能な技術です。従来からの情報を守るために暗号鍵が不要となり、情報の分散片はそれぞれ単体では元のデータを復元、解析できず意味を持たないため、情報を無意味化して守ることができます。

当社はすべての分散片を揃えないと復元ができない反面、分散、復元速度に強みをもつ AONT (All or Nothing Transform) 方式を用いた独自の秘密分散アルゴリズム「ZENMU-AONT」を開発し自社のセキュリティ製品に使用するほか、ソフトウェア開発キット(SDK)「ZENMU Engine」として外部提供しております。

以 上